



里庄町



子どもの元気な声が響き
みんなの笑顔が
あふれるまち





「子どもの**元気**な声が響き
みんなの**笑顔**があふれるまち」って
どんなまちだろう？

SATOSHO MAP

子どもの元気な声が響き みんなの笑顔があふれるまち

里庄町はこんな町

1889年(明治22年) 新庄村・浜中村が合併して新庄村となる

1905年(明治38年) 里見村・新庄村が合併して里庄村となる

1950年(昭和25年) 6月1日の町制施行によって里庄町となる

2020年(令和2年) 町制施行70周年を迎える



里庄町イメージキャラクター 里ちゃん

里庄町の「S」の文字と、町の木「つばき」をあしらったもので、緑豊かで心ふれあう町の人々の笑顔や未来に向けて歩く様子が明るく、楽しく表現されています。



子育て支援

Child care support

家庭、地域、行政が連携し、子どもたちの健やかな成長を支える取組を展開



子どもの健康を支援する環境

町内に居住する0歳から中学校3年生までの医療費が無料です。



安心して働ける環境

幼稚園には預かり保育、小学校には学童保育があり、安心して働いてもらえる環境が整っています。



保育料無料

幼児教育・保育の無償化に加え、2人目からの保育料が無料です。

子ども家庭総合支援拠点

常駐の家庭支援員が、子ども及び妊産婦の福祉に関して、相談や指導等の支援を行っています。

里ちゃん子育てアプリ

妊娠中の健診記録や子どもの成長記録・予防接種のスケジュール管理、乳幼児健診などのお知らせや子育て情報が取得できます。



健康・福祉

Health and welfare

安心して暮らせる地域福祉活動と保健・医療・福祉サービスの充実

町では、高齢者や障がいのある人にとって、安心して暮らせるまちづくりを行っています。

健康福祉センターでは健康寿命の延伸を目指し、各種検(健)診の充実と健康相談・健康教育を開催しています。

介護が必要になった場合も、住み慣れた地域で生活ができるようボランティアつばき会、ボランティアすみれの会、地域支援サポーターや生活支援サポーターなどのボランティア活動の充実を図っています。



手話でコミュニケーション

平成31年4月に「里庄町手話言語条例」が施行されました。里庄町役場のすべての窓口への筆談ボードの設置や、出前手話教室を開催するなど、手話の普及および習得の機会の確保、その他手話を使用しやすい環境の整備を推進しています。



高齢者見守りシール

認知症などで高齢者が行方不明になった際に、できるだけ速やかに身元が確認でき、安全に保護することを目的とし、QRコードが印字されたシールを交付します。



通所付添サポート事業

公会堂などで週に1回以上行っている通いの場(百歳体操)へ1人で行けない方のサポートを行います。



高齢者タクシー料金助成

在宅で生活している高齢者に対して、タクシー料金の一部を助成し、外出機会の促進および閉じこもりの予防を図ります。

教育支援

Education support

子どもたちの「生きる力」を培うとともに、グローバル時代に対応した人材の育成



さとしょう未来塾

町内の小中学校の子どもたちの健やかな成長を応援するため、学習習慣を身につける目的の「里ちゃん寺子屋」事業、子どもたちが様々な体験活動を体感できる「里ちゃんチャレンジ・ワールド」事業があります。



ファミリー給食

小学校では、全学年が一緒に食堂で給食を実施。1年生から6年生までのファミリー班で、楽しい給食の時間を過ごしています。



里庄町の次代を担う人づくりを推進するため、学校・家庭・地域など社会全体が一体となって、将来自立した社会人として、国内はもとより、世界で活躍できるようたくましい子どもたちの育成を図っています。

子どもは町民みんなで育てるという意識を学校・家庭・地域など社会全体で共有し、互いに連携・協力しながら子どもが健全に育つ環境づくりを進めています。

生活支援員・小中連携支援員

子どもたちがより良い学校生活が送れるよう、生活支援員を配置しています。また、小学校から中学校への進学について円滑な指導が継続して行えるよう支援しています。

英語教育

国際化が進む中、グローバルな人材に成長することを願い、小中学校に専属のALT(外国語指導助手)を配置し、幼稚園や保育園にも週1回派遣するなど外国語教育を推進しています。



偉人

Great man

「日本の原子物理学の父」と呼ばれた仁科芳雄博士や財政学者として知られる小川郷太郎先生を輩出



仁科芳雄

「日本の原子物理学の父」と呼ばれ、日本の現代物理学の発展に大きく貢献しました。仁科博士の言葉「環境は人を創り 人は環境を創る」には仁科博士の研究人生が凝縮されています。

仁科芳雄博士生家



住 所：里庄町浜中717
公開日：日曜日のみ公開
駐車場：10台

その他：入場無料
問合せ：仁科会館
電 話：0865-64-4888

仁科会館(里庄西公民館)



住 所：里庄町浜中892-1
休館日：月曜・第3日曜・年末年始
駐車場：60台

その他：入場無料
問合せ：仁科会館
電 話：0865-64-4888

小川郷太郎

財政学者として知られ、昭和20年に亡くなるまで商工大臣、鉄道大臣、当時のビルマ政府の最高顧問などを歴任し、現地の財政立て直しの指導にあたりました。

小川郷太郎生誕地碑 歴史民俗資料館



館内の展示室には、仁科芳雄博士・小川郷太郎先生関係の遺品をはじめ、大原焼、麦稈真田など約300点余りの郷土ゆかりのものが展示されています。外庭には仁科博士・小川先生の胸像が置かれています。



住 所：里庄町新庄2045
開館日：第1・3日曜日
駐車場：あり
その他：入館無料
問合せ：教育委員会事務局
電 話：0865-64-7212



産業の振興

Industrial promotion

ものづくりをはじめとした産業のまち里庄
地の利を活かし、人も企業も活力あふれる
まちづくりに取り組む



里庄町は、国道2号、J R山陽本線、北部には山陽自動車道が通る交通利便性の高いまちであるとともに、岡山・倉敷都市圏、福山都市圏に近接している恵まれた地理的環境を有しています。

こうした環境を活かし、工作機械・電子部品・食品加工・医薬品等の優良企業や関連中小企業が数多く立地し、雇用の創出や地域経済の活性化を担っています。

町では、新規の企業立地や既存企業の設備投資を促すため、企業のニーズを踏まえた効果的な支援に取り組んでいます。

ふるさと納税

ふるさと納税制度は、生まれ故郷やゆかりのあるまち、大好きな応援したいまちなどを、寄附金を通じて応援する制度です。皆様から寄せられた思いは、青少年の健全育成や子育て支援、健康づくりなど様々な事業に役立てられています。



寄附をいただいた場合、感謝の気持ちと町の魅力がつまったお礼の品をお届けします。



「まこもたけ」って？

「まこもたけ」とは、イネ科の多年草 " まこも " の茎に黒穂菌がついて肥大化した部分のことです。食物繊維やカリウムが多く含まれており、腸内環境を整え、血圧を下げる効果があるといわれています。

どうして始まったの？

耕作放棄地解消のため、平成21年度から「耕作放棄地解消プロジェクトチーム」を立ち上げ、まこもたけの栽培実証実験を開始しました。

平成23年度から生産者による本格的な栽培が始まりました。



中学生の栽培体験学習

里庄中学校では、2年生の技術・家庭科の授業で、まこもたけの栽培体験学習を行っています。株分けから収穫、出荷までマコモ同好会の皆さんに教わりながら一生懸命栽培しています。

いつでも食べられるの？

真空パックが販売されているため、一年中食べることができます。また、まこもたけの旬である9月下旬から11月上旬に合わせて「里庄まこもたけを味わうスタンプラリー」を開催しており町内外の飲食店や販売店で美味しいまこもたけ料理を食べたり、新鮮なまこもたけを購入したりすることができます。



里庄まこもたけキャラクター
"まこりん"

まこもたけ

Makomotake

新しい産業となるまこもたけ
さまざまな料理につかえ、おいしくて
ヘルシーな特産品

安全・安心

Safe and secure

大規模な災害への対応や、安全で安心して暮らせるまちづくりを目指す



自主防災組織

地域住民が協力して「自分たちの地域を自分たちで守る」ために立ち上げる組織です。里庄町では設立の促進、活動強化のため補助金を交付しています。



交通安全対策

毎月2回の交通指導や、春・秋交通安全県民運動期間中の早朝街頭指導などの行事を通して、子どもや高齢者を中心とした交通安全の確保と交通事故防止に取り組んでいます。



町では、安全・安心のまちづくりについて町民と一体になって取り組んでいます。

里庄町子ども安全パトロール隊では、地域住民の方が毎日児童の登下校時等に声かけや見守りを行い、細やかな地域の目で子どもたちの安全を見守っています。

また、町民の安全・安心づくりとして、防災マップの作成や自主防災組織の設立支援、災害情報の素早い情報伝達などを行うための事業を実施しています。

災害情報伝達手段整備事業

屋外拡声機の一斉放送、スマートフォンアプリ、家庭に設置した戸別受信機を活用し、災害時の避難情報などを町民に効果的に届けることを目的に町制施行70周年記念事業として整備しています。

避難情報を迅速に伝達

町民への情報伝達の中継役となる37分館の分館長にスマートフォンを貸与し、災害時の避難情報などを町民に迅速かつ確実に伝達する仕組みを運用しています。

子ども安全パトロール

地域住民の方が毎日児童の登下校時などに声かけや見守りを行い、細やかな地域の目で子どもたちの安全を見守っています。

自然・都市

Nature/city

自然と都市が共生するまち
快適で暮らしやすいまちづくりを目指す

町の暮らしには自然と程よい距離感があります。

北には虚空蔵山、南は毛野無羅山に囲まれ、これら山々の間に広がる市街地と、その周囲の田園環境とのバランスが取れた緑豊かなまちです。

また、まちの中心には国道2号が通り、現在さらなる広域的な道路ネットワークの拡充を行っており、都市としての発展のため整備を進めています。



つばきの丘運動公園

緑豊かな自然を生かし、誰もがスポーツに親しみ、交流を深めることのできる都市公園として、町制施行50周年(平成12年度)を記念に整備されたものです。子どもが大好きな遊具を設置した「子ども広場」や健康づくりに最適な「ウォーキングコース」があります。



道路整備

現在、国が国道2号の慢性的な渋滞を解消するため、バイパスである玉島笠岡道路の整備を行っており、県はそのバイパスと現国道2号とのアクセス道路や県道園井里庄線(浜中バイパス)の整備を進めるなど、広域的な道路ネットワークの強化が図られています。里庄町としても、町民の利便性と安全性を向上させるため、町道里見229号線を東へ延伸する町道里見716号線などの道路整備を進めています。



町営墓地「やすらぎ霊園」

四季折々の豊かな緑に囲まれた霊園です。総区画数300区画の墓域は、4㎡、5㎡、6㎡の3種類で構成されています。また、国道2号からのアクセスもよく、町内はもちろん、遠方からの参拝の際にも便利な場所にあります。

公共下水道

平成16年10月から一部供用が開始された下水道は、令和2年3月末の処理区域内人口(下水道を使用可能な人)が7,312人(普及率65.48%)で、水洗化人口(下水道を実際に使用している人)は5,204人(水洗化率71.17%)となっています。快適な生活と美しい自然の共生を図るため、町民の協力のもと、公共下水道の計画的な整備を推進しています。

年間行事イベント紹介

1月

消防出初式

町内で活動する消防団員、婦人防火クラブ員および笠岡地区消防組合職員が一堂に会し、一年間の防火と防災への決意を新たに誓います。また、消防活動に尽力し功績のあった団員、分団等を讃え表彰が行われます。

成人式

20歳を迎える新成人が集まり、大人としての自覚と責任を心に刻みます。式典後の交歓会では恩師も招かれ、同級生との思い出話や近況報告で楽しく盛り上がりま



2月

健康まつり・体力づくりふれあいマラソン大会

健康増進と生活習慣の向上・改善を図ることを目的に、健康チェックや体力測定などが実施されます。健康まつりと合わせてマラソン大会が開催され、町内約3.1kmの道のりを楽しみながら走ります。

立志式

14歳を迎える里庄中学校の2年生が、大人への第一歩を踏み出し、将来について考え、大人としての自立を自覚する契機となる式典です。



3月

観梅会

仁科芳雄博士生家の庭に毎年凛と咲く梅を愛でながら、博士を偲ぶ会です。当日はぜんざいや甘酒、そして生家の梅から作られた梅干しをいただきながら梅の花を鑑賞します。



6月

小川賞授与式

小川郷太郎先生は、仁科芳雄博士とともに里庄町が生んだもう一人の偉人。生誕日である6月9日に生誕の地である記念碑前で行われる小川賞授与式では、町内の小学校6年生を対象に、学業、スポーツ、生活態度が優れ、他の人の模範となっている児童に賞が贈られます。



7月

暁天座禅

町内の小学生、中学生が参加して、早朝の6時から1時間座禅に取り組む暁天座禅は夏休みの恒例行事。里庄町武道館で4日間、岡山市東林寺の越海暢芳住職の指導のもと、張り詰めた空気の中で静かに自らを見つめ、自立する精神を養います。



8月

夏まつり里庄

夏まつり里庄は、毎年8月上旬に、里庄中学校グラウンドで開催しており、会場には町内外から多くの方が訪れ、里庄町の夏の風物詩となっています。会場には多くの出店が並び、ステージ等では、キャラクターショーやライブ、抽選会など盛りだくさんのイベントが行われます。



9月

ロボットコンテスト

アイデアと技術で勝負する科学の祭典、ロボットコンテスト。仁科芳雄博士ゆかりのイベントとして開催されています。中学生の部と高校生の部があり、毎年県内の各校から多くのチームが参加し技を競います。



厚生体育大会

厚生体育大会は、毎年2,000人以上もの町民が参加する、分館対抗の運動会。定番の玉入れや綱引き、リレーをはじめ、食いしん坊競走、お掃除大作戦といった愉快な競技もあり、幼児から高齢者まで楽しく参加できるプログラムで、町民一体となって思いっきり汗を流せるイベントです。



10月

ふれあい大会

毎年10月に「ふれあい大会」を開催しています。この大会では、高齢者の方がのびのびと体を動かし、楽しく競技を行っています。また、地域の方のふれあいの場にもなり笑顔があふれます。



11月

産業文化祭

庁舎前特設ステージ・福祉会館・総合文化ホール「フロイデ」などで各種団体による多彩なプログラムが催されます。文化協会による書道や絵画、陶芸、写真といった作品展や芸能祭も開かれ、「文化のかおるまち里庄」らしい行事となっています。場外には多くの出店が並び、町内外から訪れる家族連れなど多くの人でにぎわいます。



12月

仁科賞授与式

仁科賞は仁科芳雄博士の偉業をたたえ、学業に意欲的で特に理数系に優れ、想像力豊かでリーダーシップを有する中学校3年生に授与する賞です。仁科博士の生誕日である12月6日に、仁科芳雄博士生家で授与式を行っています。



仁科芳雄博士生誕日記念科学講演会

日本の原子物理学の父である仁科芳雄博士の顕彰事業として、博士の生誕日である12月6日前後に、里庄中学校の生徒を対象に科学講演会を開催しています。これまでにノーベル賞を受賞した小柴昌俊先生、野依良治先生、益川敏英先生、小林誠先生など、日本を代表する研究者が講演しています。



発行 里庄町

〒719-0398 岡山県浅口郡里庄町大字里見 1107番地2

TEL : 0865-64-3111(代) FAX : 0865-64-3618

発行年 2020年(令和2年)

制作 ニッポー印刷株式会社

<https://www.town.satosho.okayama.jp/>



町の花「つばき」

つばきは日本古来のもので、日本書紀や万葉集にも登場しており、常緑樹で親しみやすく花も美しい。また、栽培も比較的容易です。花言葉は「謙遜の美德」。

町章

町章は、ひらがなの「さ」を図案化したもので、円は町民の和と団結を、翼の部分は将来への飛躍と発展をあらわしたものです。

